

にしきお



平成23年3月17日
学校評価版

ようやく春らしい陽気となり、桜の開花も待ち遠しい頃となりました。本年度も約1週間を残すのみとなってきましたが、この一年間の保護者の皆様からの本校教育活動へのご支援とご協力に感謝申し上げます。

さて、本年度の教育活動の振り返りの資料として2学期末の段階で児童、保護者の皆様のご意見をアンケート形式でいただきました。その後、教職員で結果を分析するとともに、今後の取り組みを検討し改善を図りつつあります。また、それらを基に学校関係者評価委員(学校評議委員とPTA役員で構成)の皆様にも検討を加えていただきましたので併せて別紙にてご報告いたします。

まず、児童のアンケートでは、本校のめざす児童像である「すすんで学び、よく考える子」・「互いのよさを認め合い、思いやりのある子」・「健康でたくましい子」にどれだけ迫ってきているのかを問いました。

「すすんで学び、よく考える子」

・・・・・・・・・・・・・・・・(①・②・③・④)

授業では、話をしっかりと聞けるようになってきていますが、自分から発言していくことはあまり得意ではないというのが2割程度でています。毎日の授業の充実を図るとともに、相手の話をしっかりと受け止め返していけるよう、ペアでの対話やグループでの話し合いの場を週2回程度朝の授業前の時間に取り組みも始めています。

読書については、1学期のアンケート結果よりも10ポイントほど下がっています。「ぼんた」さんの読み聞かせや読書環境の充実を図ろうと市立図書館から学校として100冊の本を借りたり、新刊図書等のコーナーを1階廊下にも設けたりと工夫をしていますが、残念ながら伸びてきてはいません。特に2学期は運動会や美術展作品作りなど、読書時間の確保が難しいことにも原因がありそうです。さらに本を読んでみたくなるような環境作りをさまざまな角度から検討していく必要があります。

「互いのよさを認め合い、思いやりのある子」

・・・・・・・・・・・・・・・・(⑤・⑥・⑦)

そうじや作業での協力や学級、縦割り班等の活動場面で安心して楽しく取り組んでいるようです。また、学級での生活満足度を割り出す「Q U調査」結果でも、どの学年でも1学期より2学期末の方が満足度がアップしていました。これは、一人ひとりにスポットライトが当たり、互いのよさを認め合えるような場を大事にした取り組みの成果であると思われる。今後も継続させなければならないことです。

「健康でたくましい子」・・・・・・・・(⑧・⑨・⑩)

運動が好きで体を動かしてよく遊ぶというのは、錦生小学校の子どもたちのすばらしい特徴の一つです。朝、業間、昼休みと、とにかく外での遊びが大好きです。また、学年全員がそろって遊びに出かける「みんな遊び」も楽しみの一つようです。

あいさつについては、生活委員さんの声かけもあり、声を出しているようです。

全体を通して、子どもたちは学校生活を充実したものであると感じており、毎日過ごすことができていると思われ。保護者の皆様のご支援のおかげと改めて感謝申し上げます。

【児童のアンケート結果】

